

令和 6 年 6 月 26 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

茨城県古河市中央町一丁目 5 番 1 号
医療法人 共 助 会
理事長 小 倉 一 宏 ⑩
電話 0280 (22) 4545



決 算 届

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの決算を終了したので、医療法第 5 2 条第 1 項の規定により届出します。

取扱課	経由機関名	経由第 96 号
医療政策課長 殿	(茨城県古河保健所扱)	令和 6 年 7 月 1 日

事 業 報 告 書
(自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 3 1 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人 共助会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☒ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 茨城県古河市中央町一丁目 5 番 1 号

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 昭和 3 4 年 9 月 2 8 日

(4) 設立登記年月日 昭和 3 4 年 1 0 月 7 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	小倉 一宏	
理 事	小倉芙美子	
同	木村 修	猿島厚生病院管理者
同	安藤ひろみ	
同	飯塚 達	おぐらメンタルクリニック管理者
同	小倉 直子	小倉歯科医院管理者
監 事	丸山 敏己	

注) 1. 社会医療法人、特別医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 7 条第 1 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 9 条の 4 参照)

〔別 紙〕

様式 1

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種類	施設の名称	施設の医療機関コード 又は介護事業所番号	開設場所	許可病床数
病院	猿島厚生病院	0810410845	茨城県古河市西牛谷737番地	精神病床 235床
診療所	小倉歯科医院	0830430518	茨城県古河市中心中央町 1丁目5番3号	
	おぐら メンタルク リニック	0810410811	茨城県古河市中心中央町 1丁目5番1号	

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考
障害福祉サービス事業	茨城県古河市西牛谷737番地	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

〔別 紙〕
様式 1

(3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 5 年 5 月 31 日 令和 4 年度決算の決定

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入した医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。

なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

〔別 紙〕
様式 1

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

(9) そ の 他

注）当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は
廃止等を記載する。（任意）

様式 2

法人名 医療法人 共助会
所在地 茨城県古河市中央町一丁目 5 番 1 号

※医療法人整理番号				
-----------	--	--	--	--

財 産 目 録
(令和 6年 3月31日現在)

1. 資 産 額	2,986,705 千円
2. 負 債 額	572,797 千円
3. 純 資 産 額	2,413,908 千円

(内 訳) (単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	835,059
B 固 定 資 産	2,151,646
C 資 産 合 計 (A + B)	2,986,705
D 負 債 合 計	572,797
E 純 資 産 (C - D)	2,413,908

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3 - 2

法人名 医療法人 共助会
所在地 茨城県古河市中央町一丁目 5 番 1 号

※医療法人整理番号

貸 借 対 照 表
(令和 6 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	835,059	I 流 動 負 債	83,909
現金及び預金	685,156	買 掛 金	276
事業未収金	131,116	未 払 金	10,465
たな卸資産	6,735	未 払 費 用	14,337
前払費用	396	未払法人税等	166
その他の流動資産	11,656	未払消費税等	1,672
II 固 定 資 産	2,151,646	預 り 金	9,469
1 有形固定資産	1,553,923	前 受 金	36
建物	1,398,498	賞与引当金	12,400
構築物	50,221	短期借入金	35,088
その他の器械備品	47,441	II 固 定 負 債	488,888
車両及び船舶	540	長期借入金	488,888
土地	56,690	負 債 合 計	572,797
その他の有形固定資産	533	純 資 産 の 部	
2 無形固定資産	1,230	科 目	金 額
ソフトウェア	562	I 資 本 金	8,213
その他の有形固定資産	668	II 積 立 金	2,405,695
3 その他の資産	596,493	利益準備金	2,000
有価証券	468,103	任意積立金	2,453,000
長期前払費用	89,257	繰越利益剰余金	△ 49,305
その他の固定資産	39,133	III 評価・換算差額等	
資 産 合 計	2,986,705	純 資 産 合 計	2,413,908
		負債・純資産合計	2,986,705

(注) 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式 4 - 1

法人名 医療法人 共助会
所在地 茨城県古河市中央町一丁目 5 番 1 号

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		830,130
2 事業費用		
(1)事業費	1,011,977	
(2)本部費		1,011,977
本来業務事業損失		△ 181,847
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		5,986
2 事業費用		5,986
附帯業務事業損失		0
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
収益業務事業損失		
事業損失		△ 181,847
II 事業外収益		
受取利息	25,643	
その他の事業外収益	58,630	84,273
III 事業外費用		
支払利息	2,018	
その他の事業外費用	2,217	4,235
経常損失		△ 101,809
IV 特別利益		
その他の特別利益	52,441	52,441
V 特別損失		
固定資産除却損		
その他の特別損失		0
税引前当期純損失		△ 49,368
法人税・住民税及び事業税	166	
法人税等調整額		166
当期純損失		△ 49,534

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式 5

法人名 医療法人 共助会
所在地 茨城県古河市中央町一丁目5番1号

※医療法人整理番号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式 5

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 共 助 会

理事長 小 倉 一 宏 殿

私は、医療法人 共助会の令和 5 会計年度（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和 6 年 5 月 19 日

医療法人 共 助 会

監 事 丸 山 敏 己 印